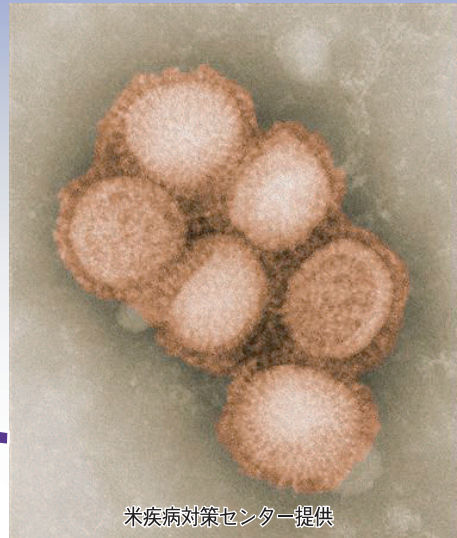


新型インフルエンザ対策 小児科医会からのお願い

新型インフルエンザが流行しています。世界的に感染が広がり、日本でもたくさんの患者さんが出て、学級・学校閉鎖となるところが増えています。それとともに、夜間や休日に救急医療機関へ受診する患者さんも急増しています。そのため、待ち時間がたいへん長くなって、重症の患者さんの手当てが遅れることが心配されます。救急医療機関への受診に際し、小児科医会から、皆様へ緊急のお願いがあります。



米疾病対策センター提供

あわてず、急がず、様子を見て

夜間や休日では、混雑した救急医療機関に受診する前にもう一度、症状を見て翌日の受診でもかまわないか考えてください。受診しようかと迷ったら午後7時から10時までは、#8000(千葉県こども急病電話相談)をご利用ください。

今回の新型インフルエンザの流行では、例年のインフルエンザの流行時の数倍の患者さんが一度に発生すると予想されます。夜間や休日では、比較的症状が軽く、呼吸や、意識に問題がなければ、翌日まで待ってかかりつけ医に診てもらっても大丈夫です。咳エチケットを守り、栄養や水分をとって安静にすることも大事です。熱が出てから、時間が早い(6~12時間と言われています)と、迅速診断も不確かです。患者さんが多い場合には迅速診断ができないところもあります。抗インフルエンザ薬は熱が出てから48時間以内ならば効果があります。

こんな時は気をつけて

今まで肺炎や脳症などを併発して、重症になった方の4分の3は、基礎疾患のある方でした。次のような方は、主治医の先生と連絡して早めに受診するようにしましょう。そして出来るだけ、昼間のうちにかかりつけ医に受診してください。

妊婦、喘息や慢性の呼吸器の病気、心臓や腎臓の病気、筋肉や神経の病気、糖尿病、血液の病気、免疫力の低下する病気を持っている方

基礎疾患のない、もともと健康な方でも、次のような症状があればすぐに医療機関に受診してください。

呼吸が苦しい、息切れがする、意識がおかしい、興奮して変なことを言う、すぐにウトウトしてしまい、呼んでも目が覚めない、水分が取れず、尿が出ないとき